

# 私を支える魔法の言葉



●6歳の時、初舞台を踏み「長唄・羽根の禿」を披露●丹生川上神社下社水まつり2017での奉納舞の様子(写真撮影:西村のぶよ)

## 山村流 上方舞 舞踊家 山村 若女さん

4歳にて山村流に入門。五世宗家の薫陶を受け、18歳にて山村流四世宗家直門として 師匠名取を許される。門人の会・若水会(おちみずかい)、東京門人会・秋津島(あきつしま)の会、地歌舞の会・玉響(たまゆら)の会を主宰し、それぞれ年一回の舞の会を開催。数多くの舞台に立つ傍ら、自らも大阪・奈良・東京にて座敷舞の定期公演会や座敷・町家ライブ、講演活動など、地歌舞の普及に務める。昭和61(1986)年より舞の原点に還るべく奈良・京都・東京等の神社仏閣にて奉納舞活動実施。海外公演はフランス・イタリア、今秋は奈良市キャンペラ友好姉妹都市25周年行事でオーストラリアへ。

### 意は真似易く、型は真似難し。

意味= 頭の中で意味がわかった気になったり、その言葉を実践したりすることはたやすく出来ます。しかし、道の達人の所作や形(型)を真似たり、その通りにうつしとることは難しいこと。

吉野郡川上村で林業を営む両親のもと、三人兄弟の真ん中の長女として生まれました。3歳の時に大阪・阿倍野区へ引越しすることになり、その隣人がなんと山村流のお師匠さんでした。屏越しに「隣のお嬢ちゃん、お稽古しましょ!」と誘われ、日本舞踊を習い始めました。6歳で初舞台を踏み、思い返すと8歳の時に舞った藤娘の舞白で、四世宗家の山村若師から「筋がいいよ褒めていた。だいた記憶が幼いながらも誇りながら、今日まで舞を続けることができたのかも知れません。その後、四世宗家のご息女にあたる山村糸師匠(五世追贈)にご指導を受けるようになりました。糸先生の教えは私の心に染み入るようでした。「ひろこちゃん(本名)は、形はできておねんけど、つながりをもっと大事にせなあかん。文章も助詞や助動詞の意味合いが変わるよ。」舞は数学。自然には理にかなった美しさがあるんですよ。だから、型は決まってるねん。自然をお手本にしなさい。この糸先生との出会いこそ、私の人生においてかけがえないものでした。



シンガーソングライターの大垣知哉が「今、会いたい輝く女性」取材し、人生の支えになった大切な言葉とストーリーを綴る「魔法の言葉」を連載。

たのが、23歳の時の糸先生の死でした。あまりにも早い師匠との別れに愕然としました。他界された3日後に宗家の会で「三つ面子守」を新たな振りで踊ることになっていた糸先生のその振りを引き継ぎ、3ヶ月後の舞踊会で舞うことになりました。新たな振りも付けた糸先生のお父様と四世宗家が一緒になって、わが子に教えるように親身にご指導してくださいました。逆縁の立場のお二人のお気持ちを考えると、私もそのお気持ちに込めようとお稽古しました。私の心の中にあったのは糸先生の素晴らしいさを後世に残したいという思いでした。私が頑張れば、糸先生の名が残る。糸先生の教えを後世に伝えていきたい。それが先生への供養だと思ひ、師匠業の決断をいたしました。その後、平成9(1997)年、フランスのエピアン市で行われた日本文化フェスティバルにて地歌舞を舞う機会を得ました。芸術大国外文化への関心は想像以上で、満員の会場は誰一



国指定史跡 中宮寺跡  
紹介者=斑鳩町役場 総務部 まちづくり政策課  
撮影地=奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺東2丁目



## 美道 街 美食

### 和食とフレンチを融合

古都の風情を今に映す奈良町に先月、「おもてなし」の心を前面に打ち出した、モダン和食「TERRACE(テラス)」が誕生した。お洒落なお店が少ないと言われる奈良であるが、そんな言葉をくつがえす洗練された店舗。四季を感じる店内や庭の演出にも心がときめく。お料理は、和食とフレンチを融合させたモダン和食。伝統的な大和野菜を初め、奈良食材がふんだんに使われていて奈良愛を感じられる。食事がスタートし、驚か

されるのが、丁寧な食材の説明。その後提供されるのは、食前酒ではなく、なんと、ワイングラスに注がれた『食前汁(けし)』である。そして、丁寧に調理された一品、一品が、美術品のように、お皿に盛られて出てくる。格別な美味しさだ。食通、大人女子、海外の方にも満足いただけることは間違いない。【モダン和食「TERRACE」】住所=奈良市納堂町10、定休日=水曜・木曜(その他不定休有り)、☎0742-93-4405 ※要予約

人と微動だにせず、たいへんな高評価をいただきました。このとき地歌舞は世界に通用する、本物の日本を見せることこそがインターナショナルであると感じました。ライフワークとなった奉納舞は、有馬稲荷神社をきっかけに、大和神社、貴船神社にて毎年奉納させていただいております。後から知ったのですが、有馬稲荷神社がある有馬温泉の中興を支えたのが、私の故郷川上村の人たちだったそうです。大和・貴船各神社に至っては川上村の丹生川上神社上社の水の神様が祀られています。

が、有馬稲荷神社がある有馬温泉の中興を支えたのが、私の故郷川上村の人たちだったそうです。大和・貴船各神社に至っては川上村の丹生川上神社上社の水の神様が祀られています。山形流の教えは水で家紋は水紋。そして、私が代々受け継ぐ女紋は桜。桜といえは吉野。山村流の替紋が裏桜。つまり、これらはすべて自然の流れてご縁をいただいたものなのです。現在、拠点を置く奈良は日本文化の発祥・揺籃の地です。この奈良で舞を発信することは、国内だけでなく、世界中へさらさらと世界の人々に感動を与える舞踊家になりたいと思っています。



## 「中将堂本舗」よもぎ餅

つぶあん、こしあん、アッサリあんこに、コッテリあんこ。和菓子好きは、あんこに始まり、あんこに終わる。あんこ好きの間で『何度でも食べた。あんこの本』(文春文庫)という人気本があります。もちろん、私も愛読している一人です。その本の表紙を飾っているお餅の、なんとおもしろいことと一列がでる人気店、中将堂本舗さん(葛城市富麻 0120-4833-203)のよもぎ餅です。一口大のよもぎ餅の上に、ボタンの花びらを型どったつばあん。中将堂本舗さんのよもぎ餅は、旬の時期のよもぎを冷凍し、年中ブレンドをしているので、いつ食べても口一杯によもぎの香りがはつきりと広がります。つばあんは、アッサリで何度食べても飽きることがありません。私は、いつもペロッと4〜5個は食べてしまいます。よもぎの旬は、4月、5月です。この時期のよもぎ餅は香りが立ちます。旬を過ぎるとアツクが出だし、香りより、味が立ってきます。季節の流れに合わせて、微妙に味わいが変わっていくのがよもぎ餅の楽しいところ。中将堂本舗さんでは、よもぎ餅以外にも、冬限定メニューが、店内で頂けます。今すぐにも飛んで行きたくなる絶品ですよ。(ラムニストM)

奈良をこよなく愛する「ラムニストM」が、奈良の「深い魅力」を讀者にお伝えしようと東奔西走する企画「ちよっとMI TE YO!」和菓子や伝統工芸、職人さんを訪ね歩きます。

- 【なら100年会館】〒630-8121 三条宮前町7-1 ☎0742-34-0100 ◆開館20周年記念「鼎談と万葉オペラコンサート」次なる100年へ。 ▼とき…来年2月2日(土)午後2時開演 ▼出演…上野誠さん(万葉学者)、三原剛(バリトン歌手)、湯木和則(NHK奈良放送局局長)、万葉オペララボの皆さん ▼内容…「万葉オペラ・ラボ」の取り組みやホールの実来について、「奈良、芸術、マスメディア」を切り口としての鼎談と、万葉オペラの名曲によるコンサート ▼申し込み…往復はがき、Eメールに公演名と代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数(2人まで)を書いて、1月10日必着で同館へ。多い場合は抽選。4歳以下入場不可、5歳以上入場可(要申込)。Eメールで応募される方は、(manyou-opera@nara100.com)からのメールが届くよう設定をお願いします。 ▼問い合わせ…なら100年会館(☎0742-34-0100)

### イベント情報

- 【名勝大乗院庭園文化館】〒630-8301 高畑町1083-1 ☎0742-24-0808 ◆入江泰吉出張写真展・興福寺中金堂落慶記念「入江泰吉の興福寺展」(入場自由) ▼とき…12月12日(水)~1月20日(日)(年末年始休館日12月25日~31日、1月4日、5日)
- 【奈良市美術館】〒630-8012 二条大路南一丁目3-1 ミ・ナール5階 ☎0742-30-1510 FAX0742-35-7160 ◆新春造形まつり「奈良市児童生徒作品展」 ▼内容…市立小~中学校、市内養護学校、奈良教育大学附属中学校特別支援学級の児童生徒の図工美術の成果を紹介 ▼とき…1月4日(金)~6日(日)午前10時~午後5時半(入館は午後5時まで)